

新島繁 しんじま 評論家。明治二十四年十一月二十日山口縣生れ、昭和二十一年十一月十九日歿（一九二一、五七）。本名野上巖。大正十五年東京帝國大學文學部獨文科卒。日本大學漢科教授。昭和四年ポロネツリヤ科學研究所、翌年新興教育研究所に加入し、六年日大退職。翌年唯物論研究會創り會員、十六年ドイツ大使館翻譯室屬託。戰後自由懇話會事務局長、二十年神戸大學教授。

譯著書、ダニエル・ヤレギイ著「ニーチエ傳」(木谷、生田長江共譯、

昭和五年五月、二十五日新潮社)、「文學古典の再認識」(合著・藝術

遺產研究會編、昭和十年二月十一日現代文化社)、クルティウス著

「ロバルザツク論」(木谷、譯、昭和十七年九月十八日河出書房)、エ

ルンスト・クリーク著「全體主義教育原理」(同、譯、昭和十八年二

月二十日東田書店)、「コシユレハ詩全集・上巻」(同、大野敏英石中義治共譯、

昭和十九年十一月十三日白水社)、「教育民主化のたのしみ」(合著・

自由懇話會編、昭和二十一年九月二十日建設社)、「文學古典の再認

識」(合著・壺井繁治編、昭和二十二年十一月一日高山書院)、「文

藝學の諸問題(石山徹郎記念論文集)」(合著・文藝學談話會編、昭

和二十三年七月十五日建設社)、「現代ジャーナリズム論」その分析

と批判」(合著・關西學院新聞部編、昭和二十三年八月十五日大阪・

巖々堂)、「綜合ゲーテ研究」(合著・舟木重信民科藝術部編、昭和二十四年

四月二十日北隆館)、「藝術論入門」(合著・一條重美編、昭和二十

四年十二月二十五日北隆館)、「世界解放詩集」(共編、昭和二十六

年五月十一日飯塚書店)、「國本文學論」これからの文學は誰が作るの

がらみ」(合著・民主主義科學者協會藝術部會編、昭和二十八年四月

二十一(四)續(文)第。